

2022年度のI Love Youプロジェクトでは、長野県立子ども病院の中央にある中庭回廊の窓に、中川ケミカルの協力を得てカッティングシートで窓を彩ることができました。透明や無透明のカラフルなカッティングシートは、入院している子どもたちや、その家族、看護師、そして外来の子どもたちに切ってもらい、職員と共に窓に貼り付けていきました。1日の日の傾きに合わせて、窓からさまざまな形や色のシルエットが廊下に映り出され、回廊の良さが活かされました。

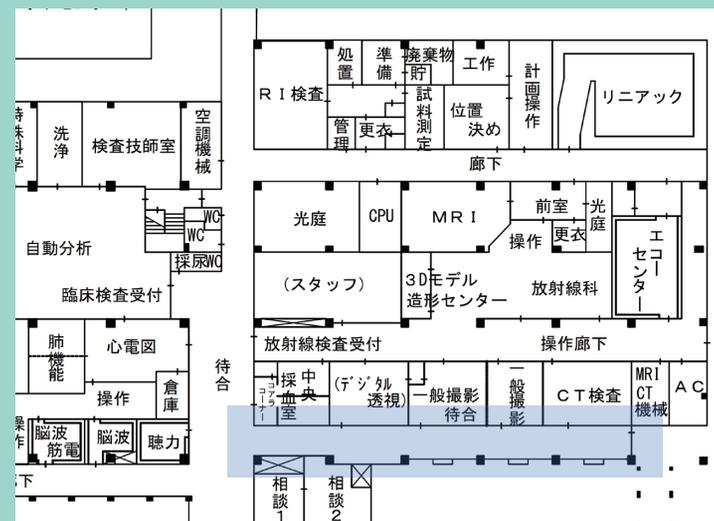
窓にカッティングシートを貼り付ける看護師さん▶



▲日中の太陽に傾きによって、光と影の印象が変わっていく。左はカーテン、右は廊下に映るさまざまな色や形のシルエット。



2023年度は「中央採血室」「レントゲン室」「CT検査室」など、子どもたちにとって怖い部屋が並ぶ廊下を明るくしたいという看護師からの意見がありました。明るい中庭から抜けて右に曲がるとその廊下はあり、大人から見ても暗い印象でした。その廊下で親子は診察を待ち、泣く子どもの声を保護者はじっと廊下で聞きながら診療が終わるのを待つそうです。単純に照明の暗さもあり、廊下も無機質な状態でした。「できることなら、2023年度はこの廊下を明るくしてあげたい」と思いました。これまで一緒に活動してきた医療安全課の山崎師長も、同じ考えです。コロナが5類になり、ようやく家族も心置きなく病院に入れるようになった今だからこそ、改めて居心地のいい、心のケアも考えられた院内にしたいと考えています。



▲図面の青い部分が暗い廊下。図面の上部写真が、実際の廊下。